年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度（2学年用）　教科　家庭科　　科目　家庭基礎

教　科：　家庭科　　科　目：　家庭基礎　　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　6 組　3年　再履修者　4年 再履修者

教科担当者：（1組：石附・垣原）（2組：今泉・飯島）（3組：石附・大平）（4組：角田・飯嶋）（5組：角田・福澄）（6組：角田・福澄）

使用教科書：「家基707図説家庭基礎」（実教出版）

教科　家庭科　の目標：

【知識及び技能】　生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それに係る技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　生活の中から問題を見いだし、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向け主体的に学び、家庭や地域の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目　家庭基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「オリエンテーション」 【知識及び技能】 授業の流れを把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 科目の性格と目標を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組む。	・指導事項 「家庭基礎」を学ぶにあたって，学習の意義や内容，情報収集，レポートの書き方など学習の方法，評価の方法を理解させる。 ・教材 プリント　記録ファイル	【知識及び技能】 実習の進め方、記録の取り方を理解し，授業を進めていくことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 実習を通して学び、自分の考えや意見を述べることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むことが出来る。	○	○	○	1
	自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】 「人とかかわって生きる」を理解し、身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を活用した学習活動により総合的に考え判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に質問をすることができ、授業や実習に主体的に取り組む。	・指導事項 自己分析をすることで自分らしい生き方について考える。 時代とともに変化する家族・家庭について学習し，現在の家族の抱える課題などを多角的に理解する。 ・教材 プリント　記録ファイル　振り返りシート	【知識及び技能】 各ライフステージごとの発達課題について理解し，それぞれの発達段階で起こり得るライフイベントと関連させて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の適性について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の自分がつくる家族について考えようとしている。	○	○	○	7
	子どもとかかわる 【知識及び技能】 10代の健康の大切さを理解し、行動することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもを生み育てる意義について考え、理解し、考えを述べることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの人間形成には，保育者やまわりの人とのかかわりが重要であることを理解する。	・指導事項 青年期の健康が将来の生まれてくる子どもにつながっていることを知り，育てる力について学ぶ。 ・子どもの身体の成長について，大まかな流れと特徴を学理解する。 子どものよい生活習慣はすこやかな成長を促すことや，子どもの健康管理や安全対策の重要性について学ぶ。 ・教材 プリント　記録ファイル　振り返りシート	【知識及び技能】 将来子どもを生む可能性のある今の10代の健康が，子どもの命にかかわっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの発達に対し，どのような関わり方がよいか考えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の現在・将来と結びつけながら，考え，学習しようとしている。	○	○	○	8
	高齢者とかかわる 【知識及び技能】 現在の高齢社会，高齢化の進む社会について統計などより理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢社会の現状と課題を理解し、高齢者の自立支援と家族や地域の役割を考え、行動する。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢期について自分と結びつけながら考える。	・指導事項 高齢者とかかわることの意義，高齢社会の現状と課題について学習する。 高齢社会の現状を理解するとともに，高齢者への理解を深める。 高齢者の心身の変化と生活について学習する。 ・教材 プリント　記録ファイル　振り返りシート	【知識及び技能】 現在の高齢社会，高齢化の進む社会について統計などより理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 人生経験のある高齢者とかかわりを持つことの意義を理解し、行動できる。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢期について自分と結びつけながら考えようとしている。	○	○	○	4
	食生活をつくる 【知識及び技能】 食に関する基礎的、基本的な知識と技術を習得させ、生涯を見通した食生活が営めるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康的、安全な食生活を理解し，衛生的	・指導事項 ・栄養と食品、健康の関り，現代の食生活の変化と問題点について学習する。 ・5大栄養素の知識を身に着ける。 ・食中毒の種類や予防法について学び，衛生的な調理や食事管理ができるようにする。	【知識及び技能】 ・食と栄養、健康に関する言葉とそれぞれの関係について理解する。 ・調理室の使い方を理解し、正しく計量ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の食生活や自分の食について問題点を理解し、問題解決の方法、改善点を考えられる。	○	○	○	7

	な調理や食事管理ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の基礎的な技術を身につけ，それを実際の食生活に生かすことができる。	・教材 プリント　記録ファイル　振り返りシート 計量カップ・計量スプーン・デジタルスケール 端末	【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の現在の食生活を振り返り，積極的に課題解決に向かう。				
	・定期考査			○	○		1

2学期	衣生活をつくる 【知識及び技能】 人と衣服のかかわりについて，その背景や風土などを考えながら理解する。 基礎縫い、裁断、手縫いの作品製作に必要な技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 衣服の機能を理解し、適切な衣生活を送れるようにする。　安全に配慮し道具を使い構成製作する。 【学びに向かう力、人間性等】 構成通りに完成させ達成感を得る。	・指導事項 裁断 基礎縫い　（並縫い・半返し縫い・玉結び・玉止め） ボタン・スナップ付け ｱｲﾛﾝがけ　装飾 ・教材 プリント　記録ファイル 裁縫道具　布　4つ穴ボタン・スナップ ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 健康と安全に配慮した着装について理解できる。 基礎縫い（並縫い・半返し縫い・玉結び・玉止め）ボタン・スナップ付けが正しい方法でできる。 【思考力、判断力、表現力等】 安全に配慮し道具を使い構成製作することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 快適な衣服とはどのような着心地か考えられる。 主体的に取り組み、構成通りに完成させ達成感を得ることが出来る。	○	○	○	14
	食生活をつくる 【知識及び技能】 食に関する基礎的、基本的な知識と技術を習得させ、生涯を見通した食生活が営めるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な食生活の送り方を理解し，衛生的な調理や食事管理ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の基礎的な技術を身につけ，それを実際の食生活に生かすことができる。	・指導事項 栄養素と健康のかかわり，現代の食生活の変化と問題点について学習する。 ・安全、衛生に配慮した基本的な調理技術を身に着ける。 ・教材 プリント　記録ファイル　振り返りシート 調理器具・食材・食器 端末	【知識及び技能】 栄養素の働きについての知識を修得する。 栄養と健康の関りを理解する。 調理技術の基本を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の食生活の分析と、望ましい食の在り方を理解し、食事管理ができるようになる。 安全、衛生的に実習を進め、終了できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の現在の食生活を振り返り，課題を見つけ，改善にむけて積極的に取り組む。 協力して実習に臨み、作業手順などの改善点を班で分析する。	○	○	○	15
	・定期考査			○	○		1
	経済的に自立する 消費行動を考える　【知識及び技能】 ・家計の構成を理解する。・契約の仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実際の生活において，環境に配慮した消費行動をとることができる。 ・SDGsについて，身近な例をもとに思	・指導事項 ・家計の構成（収入・支出）を学習する。 ・多様な販売方法や，問題商法の種類と対処法について学習する。 ・多様化している支払い方法や多重債務の予防と対処について学習する。 ・循環型社会をめざすための法律について学ぶ。 ・教材	【知識及び技能】 ・生活設計とかかわらせて，長期の経済設計の必要性について理解している。　・循環型社会を形成するための法律がわかる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生活情報を収集し，環境にも配慮した適切な消費行動を思考・判断できる。　【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	8
	住生活をつくる 【知識及び技能】 住まいの機能や地域性豊かな住まいの文化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活様式の変化や二つの起居様式について理解する。　生活の機能に応じた住空間の構成を理解し、生活に役立つ力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の伝統的な住文化ついて理解する。	・指導事項 住まいの機能や文化，生活様式について学習する。 住まいにおけるバリアフリーやユニバーサルデザインについて学習する。 ライフステージやライフスタイルに応じた住生活について学習する。 災害や家庭内事故とその対策について学習する。 ・教材 プリント　記録ファイル 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 地震や台風などの自然災害，また，火災・盗難などの人為的な災害とその対策について理解できる。 安全な住まいづくりや住環境について理解できる。・ 【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージに応じた住まいについて思考・判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 住まいにおいて，バリアとなっている箇所を見つけるなど課題を見つけ，改善に向けて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	・定期考査			○	○		1
							合計 78